4-289-309-**01**(1)

SONY

# AC アダプター / チャージャー

## 取扱説明書

**お買い上げいただきありがとうございます。**

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

***AC-VQ1051D***



*428930901*(1)

http://www.sony.co.jp/

この説明書は、古紙70%以上の再生紙と、VOC (揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています。

# ⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

**●安全のための注意事項を守る**

**●定期的に点検する**

1 年に 1 度は、電源プラグ部に異常がないか、故障したまま使用していないか、また、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、などを点検してください。

**●故障したら使わない**

動作がおかしくなったり、本機が破損しているのに気づいたら、すぐにソニーの相談窓口にご相談ください。

**●万一、異常が起きたら**

本機はコンセントの近くでお使いください。本機をご使用中、不具合が生じたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、電源を遮断してください。

変な音やにおいがしたら、煙が出たら

➡ ❶ 電源プラグをコンセントから抜く
カーバッテリーコードをシガレットライターソケットから抜く
❷ ソニーの相談窓口に相談する

### 警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

**注意を促す記号** / **行為を禁止する記号** / **行為を指示する記号**

火災 感電 / 禁止 分解禁止 風呂・シャワー室での使用禁止 / プラグをコンセントから抜く 指示

### ⚠警告 下記の注意事項を守らないと、火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

**ハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させるなどの衝撃や力を与えない**

禁止

**分解や改造をしない**

火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理はソニーの相談窓口にご相談ください。

分解禁止

**指定以外のバッテリー(電池)を使わない**

火災やけがの原因になることがあります。

禁止

**内部に水や異物を入れない**

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、電源プラグをコンセントから抜いて、ソニーの相談窓口にご相談ください。

禁止

**水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体で本機やバッテリーをぬらさない**

感電の原因となります。

禁止

**電源プラグは根元まで確実に差し込む**

差し込みが不完全ですと、発火、感電の原因となり、やけどやけがをする恐れがあります。

指示

**水のある場所に置かない**

本機やバッテリーに水が入ったり、ぬれたり、風呂場で使ったりすると、火災や感電の原因となります。

風呂・シャワー室での使用禁止

**火のそばや炎天下、高温になった車の中などで放置したり、充電したりしない**

危険防止の保護回路が壊れることがあります。

禁止

**電源コード／カーバッテリーコード(DCC-VQ1)を傷つけない**

電源コード／カーバッテリーコードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 電源コード／カーバッテリーコードは加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コード／カーバッテリーコードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。
  万一、コードが傷んだら、使用を中止し、ソニーの相談窓口へご相談ください。

禁止

### ⚠注意 下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

**水滴のかかる場所など、湿気の多い場所やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない**

上記のような場所で使うと、火災や感電の原因となることがあります。

禁止

**ぬれた手でバッテリー、本機をさわらない**

感電の原因となることがあります。

禁止

**使用しないときは、電源コード／カーバッテリーコード(DCC-VQ1)をはずす**

使用しないときは電源コードをコンセントから、カーバッテリーコードをシガレットライターソケットから抜き、バッテリーをはずして保管してください。火災の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

**安定した場所に置く**

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。

指示

**コード類は正しく配置する**

電源コード／カーバッテリーコードや接続コードは足に引っかけたりして引っぱると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。

指示

**通電中の本機、充電中のバッテリーや製品に長時間ふれない**

温度が上がることがあります。長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

禁止

**本機を布団などでおおった状態で使わない**

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

禁止

# 使用上のご注意

**本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。**

### 充電について

- 必ずソニー製純正バッテリーをお使いください。
- 専用バッテリー以外の充電には使わないでください。
- バッテリーはしっかり取り付けてください。

充電するときの温度
- バッテリーの性能を充分に発揮させるためには、10℃～30℃での充電をおすすめします。また、周囲の温度が低くなるほど充電しにくくなります。
- 本機は急速充電対応ですが、上記の推奨温度範囲外で充電すると、バッテリー保護のために充電時間が長くなることがあります。一度充電時間が長くなると、周囲の温度が推奨温度範囲になっても急速充電には戻りません。バッテリーを取り付けなおして、再び充電しなおしてください。

### 置いてはいけない場所

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。故障の原因になります。

- 異常に高温になる場所
  – ダッシュボードの上など直射日光の当たる場所や、熱器具の近くには置かないでください。炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になります。放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気や放射線のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  – 海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になります。

### 使用について

- 本機を壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- 充電するときは、バッテリーを本機にしっかり取り付けてください。
- 強力な電波を出すところや放射線のある場所で使わないでください。
  ビデオカメラなどが正しく録画・再生できないことがあります。
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- TVやAMラジオやチューナーの近くで使わないでください。
  TVやラジオ、チューナーに雑音が入ることがあります。
- 本機はコンセントの近くでお使いください。本機は充電ランプが消えていても電源から遮断されていません。本機をご使用中、不具合が生じたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、電源を遮断してください。
- 本機や接続コードの接点部に他の金属類が触れないようにしてください。ショートすることがあります。
- 本機を海外旅行者用の電子式変圧器(トラベルコンバーター)に接続しないでください。発熱や故障の原因となります。
- 使用後は必ず電源コードをコンセントから抜いておいてください。抜くときは電源プラグを持って抜いてください。
- 水の入ったものや花瓶等を本機の上にのせないでください。
- 充電中および充電直後のバッテリーまたは本機は、あたたかくなる場合があります。
- 充電したバッテリーは本機から取りはずしてください。そのまま取り付けていると、バッテリーの寿命を損なうことがあります。

### カーバッテリーコード(DCC-VQ1)使用について

- 本機は12Vまたは24Vバッテリー使用の自動車専用です。
- 自動車には、マイナスアースの車とプラスアースの車とがあります。本機はマイナスアース車専用です。
- 自動車のエンジンをかけたままでお使いください。エンジン停止の状態で使いますと、自動車のバッテリーが使用できなくなることがあります。
- 使用後は必ずカーバッテリーコードをシガレットライターソケットから抜いておいてください。抜くときはプラグを持って抜いてください。

### お手入れについて

- 汚れがついたときは、柔らかい布やティッシュペーパーなどで、きれいに拭き取ってください。
- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤に柔らかい布をひたし、固くしぼってから汚れを拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
- アルコール、シンナー、ベンジンなどは使わないでください。変質したり、塗装を傷めたりすることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装を傷めたりすることがあります。

# 各部のなまえ

### 表示窓の表示

InfoLITHIUM(インフォリチウム)表示
BATTERY LIFE(使用可能時間)表示
VCR/CAMERA表示
WAITING表示
WARNING表示
TIME TO CHG (充電)表示
時間／ LOG表示
実用充電表示
満充電表示
バッテリーマーク

InfoLITHIUM / WAITING / WARNING / TIME TO CHG / NORMAL FULL / VCR/CAMERA / BATTERY LIFE / TIMES / 88m 88y / 88h 88mh / NORMAL / FULL

# AC-VQ1051Dは次のようにお使いになれます

**ご家庭や車内で使えます。付属の電源コードはコンセントにつなぎます。**
**カーバッテリーコード(DCC-VQ1)は自動車内のシガレットライターソケットにつなぎます。**
**(マイナスアース車専用)**

- 付属の接続コードを使い、ソニー製機器(ビデオカメラなど)を動作させる。
- ソニー製リチャージャブルバッテリーパック(Lシリーズ)の充電器として使う。
  – 充電終了を充電モード切替スイッチで「満充電」または「実用充電」に設定できます。お急ぎのときは「実用充電」に設定して、各バッテリーを実用充電で終了することができます。
- “インフォリチウム”バッテリーを装着した場合は、以下の機能が働きます。
  – 急速充電ができます。
    (通常充電(ビデオカメラ本体を使った充電など)より早く充電することができます。)
  – “BATTERY LOG”と充電情報を表示できます。
    バッテリーの使用履歴や、充電状況を表示します。
    ・総充電時間、充電回数、最終使用年月
    ・使用可能時間、充電終了までの時間

- 本機は、リチウムイオンタイプのバッテリー用です。ニカドタイプ、ニッケル水素タイプのバッテリーの充電には使えません。
- 機器(ビデオカメラなど)によっては使えないものもあります。お使いになる前に、お手持ちの機器をお確かめください。

### InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーとは

“インフォリチウム”バッテリーに対応した機器との間で、バッテリーの使用状況に関するデータ通信をする機能を持った新しいタイプのリチウムイオンバッテリーです。本機は“インフォリチウム”バッテリー(Lシリーズ)対応です。“インフォリチウム”バッテリーには InfoLITHIUM ロゴが付いています。
“InfoLITHIUM”(“インフォリチウム”)はソニー株式会社の商標です。

### “BATTERY LOG”(“バッテリーログ”)とは

バッテリーに記録されている使用履歴を表示します。
- 総充電時間
- 充電回数
- 最終使用年月

(表示はあくまで目安です。バッテリーにより表示できる内容に制限があります。)

### 使用可能時間表示についてのご注意(必ずお読みください)

本機は充電器として使用中、以下の条件を満たせば、充電の状況確認やバッテリーの情報の目安を表示します。
- “インフォリチウム”バッテリーを使用している。
- お手持ちのビデオカメラなどが“インフォリチウム”対応機種である。

お手持ちのバッテリーに InfoLITHIUM ロゴが付いているかご確認ください。また、お手持ちのビデオカメラなどの取扱説明書で“インフォリチウム”対応機種かどうかご確認ください。

複数の“インフォリチウム”対応のビデオカメラなどをお使いの場合は、最後にバッテリーを取り付けていた機器での情報を表示します。

“BATTERY LOG”(“バッテリーログ”)は、リチャージャブルバッテリーパックNP-F970、NP-F770、NP-F570が対象です。その他のバッテリーは対応していないなど、表示内容に制限があります。

# 接続コードをつないで使う

**電源コードとカーバッテリーコード(DCC-VQ1)を同時に接続された場合は、カーバッテリーコードの入力が優先されます。**
**ご使用の機器(ビデオカメラなど)の取扱説明書もあわせてご覧ください。**

**1** 出力切替スイッチを「VCR/CAMERA」にする。

**2** 電源コード、またはカーバッテリーコードを本体につなぐ。

**3** コンセント、またはシガレットライターソケットへつなぐ。
「ピーッ」という音がして、表示窓に表示がでます。

**4** 接続コードを DC 出力へつなぐ。

**5** 接続コードをビデオカメラへつなぐ。
**接続コードの取り付け方向については、ビデオカメラなどの取扱説明書をご覧ください。**

接続コードDK-215での接続例 / 接続コードDK-415での接続例

**ご注意**

- ビデオカメラなどを使用中に、出力切替スイッチを「CHARGE」にすると、ビデオカメラなどへの電源の供給は中断されます。
- 「VCR/CAMERA」のモードでは、本機にバッテリーを取り付けても充電することはできません。
- ビデオカメラなどの映像が乱れるときは、本機をお使いの機器から離してください。
- 接続コードDK-415は、リチャージャブルバッテリーパック(Lシリーズ)対応機器のみ使用できます。お手持ちの機器をお確かめください。
- イラストは、デジタルHDビデオカメラレコーダー HDR-AX2000の接続例です。

# バッテリーを充電する

**電源コードとカーバッテリーコード(DCC-VQ1)を同時に接続された場合は、カーバッテリーコードの入力が優先されます。**

**1** 充電モード切替スイッチを「NORMAL CHARGE」または「FULL CHARGE」に設定する。
満充電する場合は「FULL CHARGE」に設定してください。
実用充電で充電完了とする場合は「NORMAL CHARGE」に設定してください。
詳しくは「充電モードの切り替えについて」をご覧ください。

**2** 出力切替スイッチを「CHARGE」にする。

**3** 電源コード、またはカーバッテリーコードを本体につなぐ。

**4** コンセント、またはシガレットライターソケットにつなぐ。
「ピーッ」という音がして、表示窓に表示がでます。

**5** バッテリーを取り付ける。
「バッテリーの取り付けかたと、取りはずしかた」を参照して取り付けてください。充電が始まると、表示窓のバッテリーマークが順番に点滅し、充電ランプが点灯します。

**6** 充電終了後、バッテリーを取りはずす。
充電モード切替スイッチで設定した充電終了条件で充電を終了します。充電ランプが消灯したら充電終了です。充電終了については「充電モード切り替えについて」を参照してください。
「バッテリーの取り付けかたと、取りはずしかた」を参照して、取りはずしてください。

### 充電モード切り替えについて

充電の終了には、実用充電と満充電があります。充電モードは、本機の充電モード切替スイッチで切り替えることができます。

| 実用充電 (NORMAL CHARGE) | 充電されるとバッテリーマークが右図の表示になります。満充電で終了するよりもバッテリーの状態をより良く保つことが可能ですが、使用可能時間が若干短くなります。 | NORMAL |
|---|---|---|
| 満充電 (FULL CHARGE) | 満充電で充電を終了すると、バッテリーマークが右図の表示になります。実用充電より使用可能時間が若干長くなりますが、充電時間も長くなります。 | FULL |

### 2個のバッテリーを同時に取り付ける

本機は同時に2個のバッテリーを取り付けることができます。どちらか1個でも充電できます。同時に取り付けた場合、スロット[1]に取り付けたバッテリーから充電されます。
また、同時に取り付けない場合は、スロット[1]、[2]に関わらず、先に取り付けたバッテリーから充電されます。

**ご注意**

- 2個のバッテリーを取り付けることができますが、同時に実用充電することはできません。
- 充電モード切替スイッチを「FULL CHARGE」に設定した場合、先に取り付けたバッテリーから順に実用充電まで充電した後、2個のバッテリーが同時に満充電まで充電されます。

### バッテリーの取り付けかたと、取りはずしかた

**取り付けかた**

❶ **本機の上にバッテリーを置く。**
❷ **矢印の方向にバッテリーをスライドさせる。**
端子シャッターが完全に隠れるまでスライドしてください。

**取りはずしかた**

**バッテリーを取り付けたときと反対の方向にスライドさせ、真上に持ち上げる。**

**ご注意**

- バッテリーをつかんで、本機を持ち上げないでください。
- 端子シャッターには衝撃を与えないでください。バッテリーを取り付けるときなどは、ぶつけないよう、特にご注意ください。
- バッテリーを取り付けるときや、取りはずすときに指をはさまないようご注意ください。

### 主なバッテリーの充電時間

急速充電

| | NP-F970 | NP-F770 | NP-F570 |
|---|---|---|---|
| 実用充電時間 | 約285分 | 約185分 | 約110分 |
| 満充電時間 | 約345分 | 約245分 | 約170分 |

- 本機を使用し、使い切ったバッテリーを25℃の室温で充電したときの時間です。
- 周囲の温度やバッテリーの状態によっては、上記の時間と異なる場合があります。

### 急いで使いたいとき

バッテリーは、充電が完了する前でも必要なときに取りはずして使えます。ただし、充電時間によってお使いになれる時間が異なります。

### ご注意

- 充電中に出力切替スイッチを「VCR/CAMERA」にすると、充電は中断されます。
- 充電ランプが点灯しなかったり点滅したときは、バッテリーがしっかり取り付けられているか確認してください。しっかり取り付けられていないと、充電されないことがあります。
- "インフォリチウム"バッテリー以外のバッテリーは、急速充電できません。
- 充電モード切替スイッチを「NORMAL CHARGE」に設定した場合は、実用充電で終了し、満充電までの充電は行いません。
- 充電モードの切り替えは、各モードでの充電終了前であれば可能です。

充電中に何か異常があると、充電ランプが点滅し、表示窓に"WARNING"と表示されます。
詳しくは「故障かな？と思ったら」をお読みください。

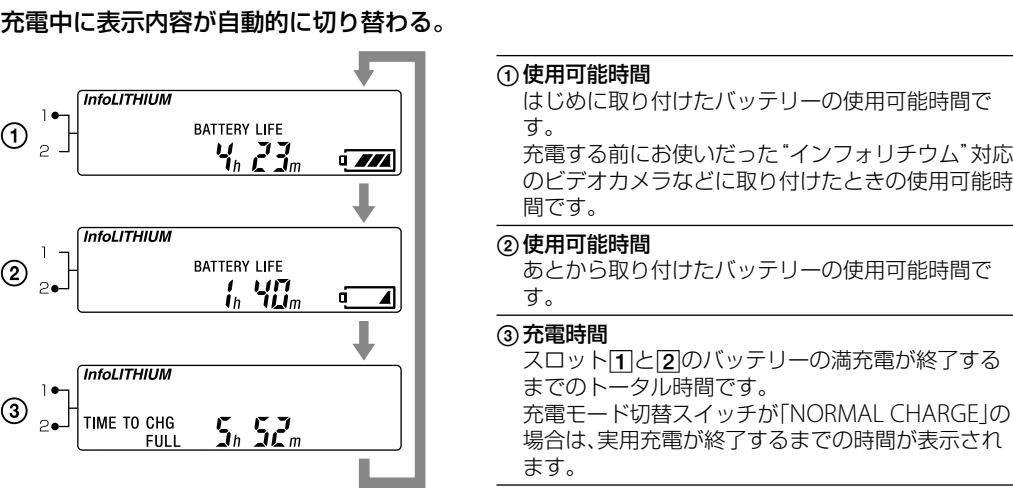
# 充電の状況を確認する

充電を開始すると、表示窓に使用可能時間が表示されます。
使用可能時間はビデオカメラのビューファインダーを使って撮影した場合の使用可能時間の目安です。液晶画面を使うと、使用可能時間は短くなります。
ご使用のビデオカメラによっては、使用可能時間が表示されないことがあります。詳しくは、「使用可能時間表示についてのご注意」をお読みください。

### 充電中の表示内容の切り替えには2通りの方法があります。

充電中の表示内容の切り替えには、自動的に切り替わる表示と、表示切替ボタンを押すことで切り替わる表示の2通りがあります。スロット表示ランプの点灯は、表示しているバッテリー情報のスロット番号を示しています。

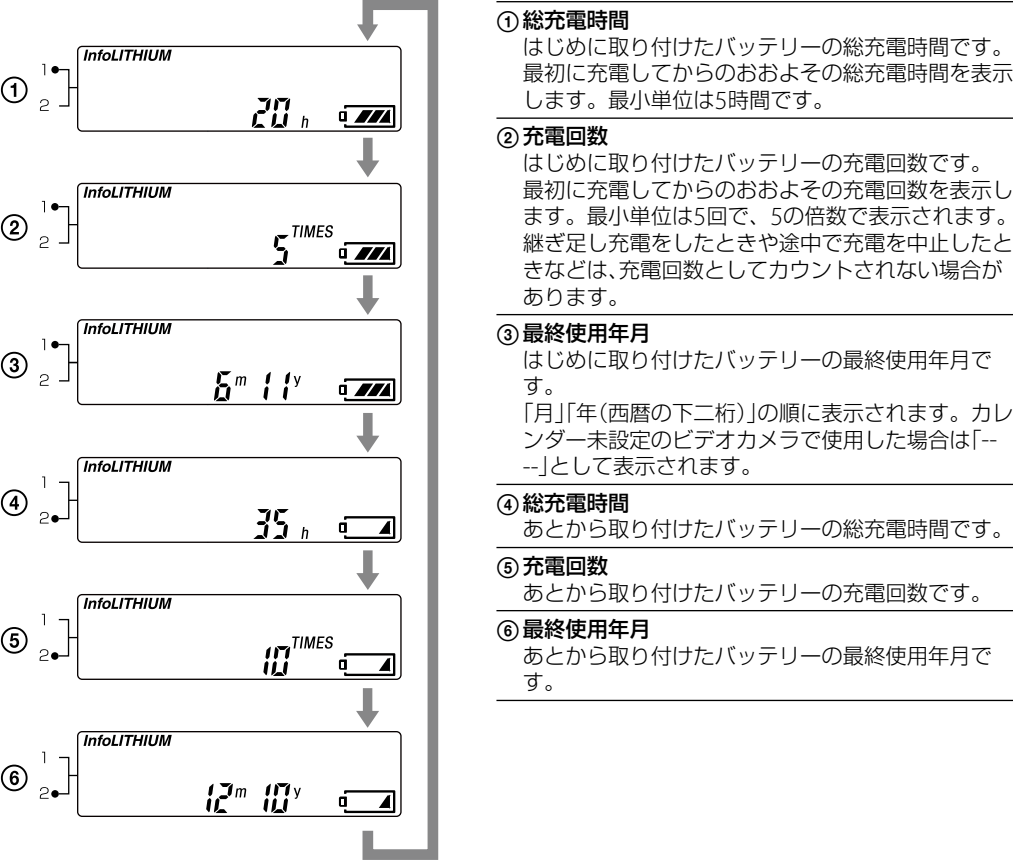
ここではスロット[1]に最初にバッテリーを取り付け、次にスロット[2]にバッテリーを取り付けた場合を例に示します。

### 充電中に表示内容が自動的に切り替わる。

① **使用可能時間**
はじめに取り付けたバッテリーの使用可能時間です。
充電する前にお使いだった"インフォリチウム"対応のビデオカメラなどに取り付けたときの使用可能時間です。

② **使用可能時間**
あとから取り付けたバッテリーの使用可能時間です。

③ **充電時間**
スロット[1]と[2]のバッテリーの満充電が終了するまでのトータル時間です。
充電モード切替スイッチが「NORMAL CHARGE」の場合は、実用充電が終了するまでの時間が表示されます。

### 充電中に表示切替ボタンを押す。

充電中に表示切替ボタンを押すと、"BATTERY LOG"を表示することができます。表示切替ボタンを押すごとに、下記のように表示が切り替わります。
表示切替ボタンを押してから約5秒が経過すると、バッテリーの使用可能時間を表示し、使用可能時間と充電が終了するまでの時間の表示を自動的に切り替えます。

① **総充電時間**
はじめに取り付けたバッテリーの総充電時間です。最初に充電してからのおおよその総充電時間を表示します。最小単位は5時間です。

② **充電回数**
はじめに取り付けたバッテリーの充電回数です。最初に充電してからのおおよその充電回数を表示します。最小単位は5回で、5の倍数で表示されます。継ぎ足し充電をしたときや途中で充電を中止したときなどは、充電回数としてカウントされない場合があります。

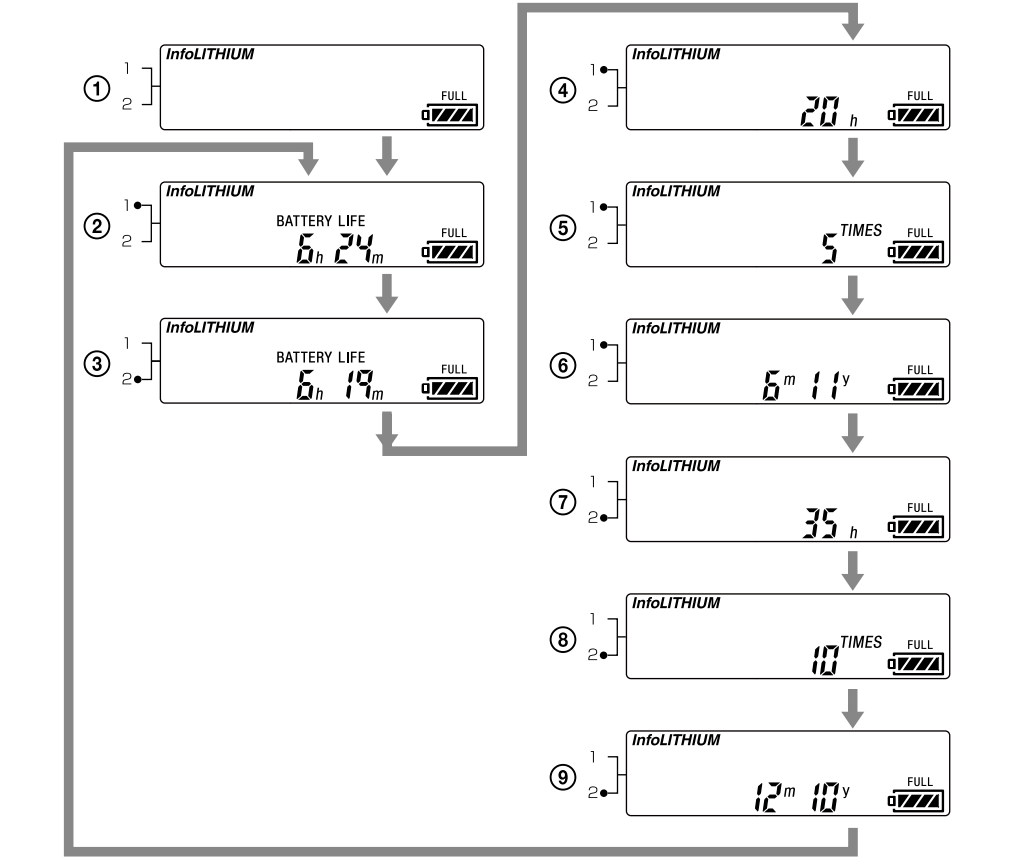
③ **最終使用年月**
はじめに取り付けたバッテリーの最終使用年月です。
「月」「年（西暦の下二桁）」の順に表示されます。カレンダー未設定のビデオカメラで使用した場合は「----」として表示されます。

④ **総充電時間**
あとから取り付けたバッテリーの総充電時間です。

⑤ **充電回数**
あとから取り付けたバッテリーの充電回数です。

⑥ **最終使用年月**
あとから取り付けたバッテリーの最終使用年月です。

### 充電終了後に表示切替ボタンを押す。

充電終了後は表示内容が自動的に切り替わりません。表示切替ボタンを押すごとに、下記のように表示が切り替わります。表示切替ボタンを押してから約5秒が経過すると、①の状態に戻ります。

① 充電が終了した状態です。充電モード切り替えスイッチが「NORMAL CHARGE」の場合は、バッテリーマークに「NORMAL」が表示されます。

② **使用可能時間**
はじめに取り付けたバッテリーの使用可能時間です。

③ **使用可能時間**
あとから取り付けたバッテリーの使用可能時間です。

④ **総充電時間**
はじめに取り付けたバッテリーの総充電時間です。

⑤ **充電回数**
はじめに取り付けたバッテリーの充電回数です。

⑥ **最終使用年月**
はじめに取り付けたバッテリーの最終使用年月です。

⑦ **総充電時間**
あとから取り付けたバッテリーの総充電時間です。

⑧ **充電回数**
あとから取り付けたバッテリーの充電回数です。

⑨ **最終使用年月**
あとから取り付けたバッテリーの最終使用年月です。

### ご注意

- 表示時間は25℃の室温で充電したときの目安です。使用環境によって実際の時間と異なる場合があります。また、バッテリーの状態によっては、時間が表示されない場合がありますが、故障ではありません。
- 充電を開始してから時間表示するまで、しばらく時間がかかることがあります。
- 充電していない側のバッテリーは、時間やバッテリー残量表示までに時間のかかる場合があります。
- 新品のバッテリーで使用可能時間を表示するには、お使いのビデオカメラなどにバッテリーを取り付け、20秒程度ご使用ください。そのあと、本機に取り付け、充電を開始してください。
- 満充電済みのバッテリーを取り付けると「TIME TO CHG FULL 1H」（満充電終了まで1時間）の表示が出ることがありますが、故障ではありません。
- 以下のときは、時間／ LOG表示が「－－ －－」になったり、時間の表示にずれが生じることがありますが、故障ではありません。
  – 表示時間と実際の充電時間にずれが生じたとき（そのまま満充電まで充電を続けてください。）
  – "インフォリチウム"バッテリーではないとき（使用可能時間表示などの機能はありません。）
  – 最終使用年月が不明のとき（バッテリーをビデオカメラへ取り付けても電源を入れなかったり、ビデオカメラのカレンダーが未設定の場合など）
  – 実用充電終了から満充電終了までの間に、本機からバッテリーを取りはずした場合
  （実用充電終了から満充電終了までは約1時間です。）
  – 長時間使用していないバッテリーを充電する場合（一度、満充電まで充電してください。）
  なお、バッテリーを2個取り付けた場合、どちらかのバッテリーが上記の状態であれば同じ症状が生じることがあります。
- "BATTERY LOG"表示は、リチャージャブルバッテリーパックNP-F970、NP-F770、NP-F570を対象としています。その他のバッテリーでは表示できる内容に制限があります。

# 海外へお持ちになる方へ

本機は100V－240Vのワールドワイド対応です。
本機を海外旅行者の電子式変圧器（トラベルコンバーター）に接続しないでください。発熱や故障の原因となります。

# 主な仕様

**ACアダプター／チャージャー（AC-VQ1051D）**

| | |
|---|---|
| 定格入力 | AC100V-240V　50Hz/60Hz　22W<br>DC12V/24V（マイナスアース車専用） |
| 定格出力 | DC8.4V 2.0A（VCR/CAMERA）<br>DC8.4V 1.6A（CHARGE） |
| 動作温度 | 0℃～40℃ |
| 保存温度 | －20℃～＋60℃ |
| 外形寸法（約） | 123 mm×53 mm×135 mm<br>（幅／高さ／奥行き）（最大突起物を除く） |
| 質量 | 約400g |

**カーバッテリーコード（DCC-VQ1）**

| | |
|---|---|
| 入力電圧 | DC12V ／ 24V |
| ヒューズの定格 | 125V 4A |
| コードの長さ | 約1.5m |
| 質量 | 約80g |

**同梱物**

ACアダプター／チャージャー（AC-VQ1051D本体）・・・・・・・・・・・・・・・・・（1）
電源コード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（1）
接続コード（DK-215）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（1）
接続コード(DK-415)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（1）
カーバッテリーコード(DCC-VQ1)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（1）
印刷物一式

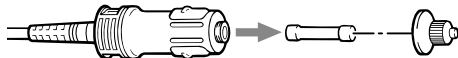
**付属の電源コードについて**
付属の電源コードは、本機専用です。他の電気機器には使用できません。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

# ヒューズの交換のしかた

カーバッテリーコード（DCC-VQ1）のシガレットライタープラグ部分にはヒューズが入っています。
カーバッテリーコード（DCC-VQ1）が正常に動作しないときには、ヒューズが切れていないか確認してください。
ヒューズが切れた場合は、ソニーの相談窓口などにて同じ定格のヒューズ（4A 125V）をお求めになり、交換してください。

**1** シガレットライタープラグ部分の先端を回してはずす。

**2** ヒューズを取り出す。

**3** 新しいヒューズを入れ、プラグ先端を元通りにしっかりしめる。

# 故障かな？と思ったら

もう1度点検してみましょう。それでも正常に動作しないときは、ソニーの相談窓口にご相談ください。

### ビデオカメラなどが動作しない

- 電源プラグがコンセントからはずれている。
  カーバッテリーコード（DCC-VQ1）がシガレットライターソケットからはずれている。
  → コンセント、シガレットライターソケットに差し込む。
- 接続コードを正しく接続していない。
  → 正しくつなぐ。
- 出力切替スイッチが「CHARGE」になっている。
  → 「VCR/CAMERA」にする。

### バッテリーの充電が行われない

- 出力切替スイッチが「VCR/CAMERA」になっている。
  → 「CHARGE」にする。

### バッテリーの残量が充分あるのに電源がすぐ切れる、または残量表示時間とずれが生じる

- バッテリーを使いきってから、もう一度満充電する。
  → 残量が正しく表示されます。

### 表示切替えが行われない

→ 「使用可能時間表示についてのご注意」をお読みください。

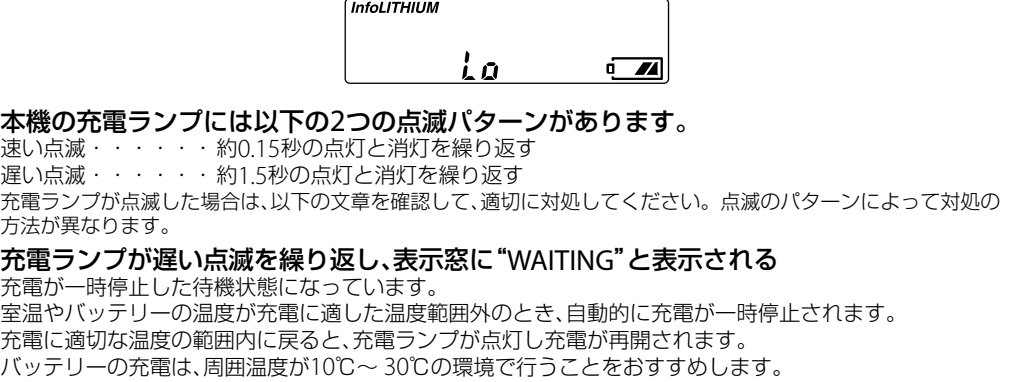
### 表示窓に"Lo"と表示される

- 低温になっているバッテリーを装着したり、10℃～ 30℃の推奨充電温度範囲より低い温度で充電すると、下記のように表示される場合があります。この場合、充電は行われますが、このままの状態が続くとバッテリー保護のために"充電待機"（下記参照）になったり、充分な充電が行われないことがあります。10℃～ 30℃の推奨充電温度範囲で充電することをおすすめします。

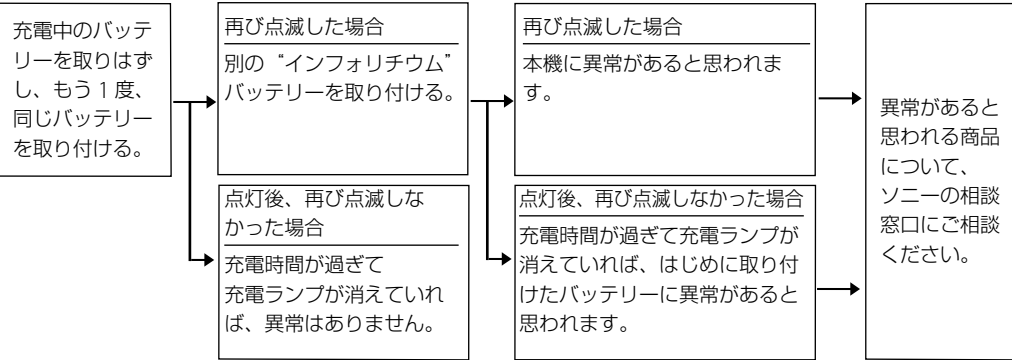
### 本機の充電ランプには以下の2つの点滅パターンがあります。

速い点滅・・・・・・約0.15秒の点灯と消灯を繰り返す
遅い点滅・・・・・・約1.5秒の点灯と消灯を繰り返す
充電ランプが点滅した場合は、以下の文章を確認して、適切に対処してください。点滅のパターンによって対処の方法が異なります。

### 充電ランプが遅い点滅を繰り返し、表示窓に"WAITING"と表示される

充電が一時停止した待機状態になっています。
室温やバッテリーの温度が充電に適した温度範囲外のとき、自動的に充電が一時停止されます。
充電に適切な温度の範囲内に戻ると、充電ランプが点灯し充電が再開されます。
バッテリーの充電は、周囲温度が10℃～ 30℃の環境で行うことをおすすめします。

### 充電ランプが速い点滅をして、表示窓に"WARNING"と表示される

以下のような場合、1度目の充電では"WARNING"が表示される場合があります。その場合は1度本機からバッテリーをはずし、再度充電を行ってください。
① 長時間バッテリーを放置した場合
② 長時間バッテリーをビデオカメラ本体に取り付けたまま放置した場合
③ バッテリーをお買い上げ直後

それでも"WARNING"が表示される場合、以下の手順に従って確認してください。

# 保証書とアフターサービス

## 保証書について

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

## アフターサービスについて

### 調子が悪いときはまずチェックを

この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

### それでも具合の悪いときは

ソニーの相談窓口にご相談ください。
ご相談になるときは、次のことをお知らせください。
●型名：AC-VQ1051D
●故障の状態：できるだけ詳しく
●お買い上げ日

### 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

### 記録内容の補償はできません

万一、本機の不具合により記録や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。

よくあるお問い合わせ、解決方法などは、ホームページをご活用ください。 http://www.sony.co.jp/support

**使い方相談窓口**
フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・ 0466-31-2511
受付時間 月～金：9:00～18:00
土・日・祝日：9:00～17:00

**修理相談窓口**
フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・ 0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。
受付時間 月～金：9:00～20:00
土・日・祝日：9:00～17:00

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「400」＋「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

**FAX（共通）**0120-333-389

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1